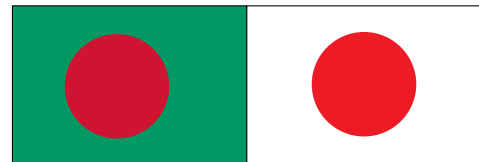


# AloAsha

**勉強したいと思っても  
貧しくてできない子どもたちがいます。**



▲大変よく似ているバングラディッシュと日本の国旗



## （（ 設立の趣旨 ））

NPO法人「アロアシャ・プロジェクト」によって建設・運営される「アロアシャ学園」は、バングラディッシュのラシャヒ市にあり、貧しくて学校に通えない子どもたちに勉強する機会を与えています。

「アロアシャ」とは、ベンガル語で「希望の光」を意味する言葉です。

「一人でも多くの子どもたちに勉強する機会を与えたい」との思いで、山形県庄内地域で支援金を募集したのを皮切りに、郵政公社の国際ボランティア貯金やロータリークラブの寄付金等で現在の学舎と職業訓練施設を建設しました。

## アロアシャプロジェクト

ガンジス川の河口にあるバングラディッシュは洪水などの自然災害が多く、家や農地を失う人がたくさんいます。子どもたちも物売りやまき拾いなどで家計を助け、半数近くの子どものが学校に行けない地域もあります。NPO法人「アロアシャプロジェクト」が建設・運営している「アロアシャ学園」には、仕事をしながら勉強している150人の子どもたちがいます。



## （（ 今後の展望 ））

「アロアシャ学園」で学んだ卒業生の多くは、どんなに優秀であっても、家庭の事情で進学を断念せざるを得ないという状況があります。その打開のため、里親を募り、ハイスクールの進学費用をまかなう準備を進めています。

貧困の中にあっても、困難に負けず、広い見識と知恵を持った子どもたちが学園から巣立ち、希望の光を次の世代に引き継いでいってくれること。それが「アロアシャ・プロジェクト」の願いです。

### アロアシャプロジェクトの経緯

- 1994年 4月 調査会発足
- 1995年 4月 第1期計画開始(6年計画、主に学校運営および運営支援が目的)
- 1995年 6月 アロアシャの会発足
- 1995年10月 民家を借り受け、アロアシャ学園(初等教育課程)開校、第1回生入学
- 1995年12月 給食制度開始
- 1998年10月 新校舎建設着工
- 1999年 1月～ 日本・バングラディッシュ学校交流事業開始
- 2000年 1月 新校舎竣工式(初等教育、職業訓練)
- 2000年 4月 職業訓練課程開始(農作業、手工芸)
- 2001年 3月 アロアシャの会解散し、アロアシャ技術協会の発足
- 2001年 4月 第2期計画開始(6年計画、主に技術協力を通じた自立支援が目的)
- 2001年 4月 農業プロジェクト開始(養鶏、野菜、果物等)
- 2001年 6月 現地スタッフ5名が来日
- 2002年 7月 アロアシャプロジェクト発足(アロアシャ技術協会改め)
- 2003年 2月 第1回生卒業
- 2003年 6月 特定非営利活動法人アロアシャプロジェクト認証取得
- 2003年 9月～ 鶴岡朝陽第二小学校6年生とアロアシャ学園の生徒たちがインターネットを通じた交流会を開催(計5回)
- 2003年10月 日本・バングラディッシュ友情サイバーカフェ開店(IT技術支援)
- 2004年 9月 農村開発事業調査開始
- 2004年10月 中等教育施設建設着工



# Project